

令和3年12月24日 市長定例記者会見 会見録

◆司会

それでは、ただ今から市長定例記者会見を始めさせていただきます。市長よろしくお願  
いいたします。

◆市長

よろしく申し上げます。まず、会見の冒頭、上下水道局が所管する高橋雨水ポンプ場の  
建築工事の件について触れさせていただきます。現在は解消されているという報告は  
受けておりますが、この工事の過程で法令に違反する手続きがあったことが判明をして  
おります。市民の皆さんにご心配をおかけしておりますこと、誠に申し訳なく思います。  
私自身、公営企業管理者に対して、徹底した調査等を行うように指示しております。  
本日は、上下水道局長が同席をしておりますので、現在の状況について説明をしてもら  
いたいと思います。

◆上下水道局長

上下水道局長の服部でございます。このたびは、当局が進めております高橋雨水ポンプ  
場の改築工事におきまして、建築基準法で定められた計画の確認済書の交付を受けずに  
工事を進めていたことが判明いたしました。市民の皆様のご信頼を損なうこのような行為  
について深くおわびをいたします。誠に申し訳ありませんでした。

高橋雨水ポンプ場では、過去にも消防法に基づく許可なしに工事に着手してしまうとい  
うことがあり、局としても再発防止策を講じてきた中でこのような事例を発生させてし  
まいました。現在、事実確認となぜこのようなことを起こしてしまったのかという原因  
調査、それから今後の対応策などについて検討を進めております。お時間をいただき  
申し訳ございませんが、記者の皆様におきましては、27日の月曜日に、その時点で  
ご説明できることをお話しさせていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします  
します。皆様にご心配をおかけしておりますが、この高橋雨水ポンプ場は大雨時の浸水  
被害を防ぐための重要な施設となります。12月21日には所定の手続きを完了し、現在、  
法令違反は解消されております。また、このことによる追加工事や費用が発生すること  
はなく、来年3月の供用開始が遅れることがないよう、現在、整備を進めておるところ  
でございます。このたびは、本当に申し訳ありませんでした。

◆市長

ただいま説明のとおりでありますけれども、局長からの報告を待つて、市としての今後  
必要な対応を検討してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

#### ◆司会

本件につきましては、既に昨日お知らせをしているとおり、27日の月曜日に説明の場を設けさせていただいております。皆さんからのご質問には、その際に対応させていただきますのでよろしくお願いをいたします。

それでは本日の話題に入らせていただきます。本日発表案件は今年の振り返りですけれども、幹事社さんからも同様のご質問をいただいておりますので、先に1問、質問いただいてから、それを受けて市長からコメントさせていただきます。第一テレビさん、よろしくお願いいたします。

#### ◆第一テレビ

よろしくお願いします。幹事社の静岡第一テレビです。2021年も間もなく終わりますけれども、今年はコロナの感染が拡大したりオリンピックがあり、また選挙イヤーでもありました。そんな中で今年を振り返って市長が思われる静岡市の主な出来事についてお伺いできればと思います。お願いします。

#### ◆市長

はい。どうもありがとうございます。今年最後の定例記者会見ですので、まずもって、今年の私の漢字一字を発表したいと思えます。「克」であります。「かつ」とも読みますが、今年は克服すべき困難とか課題の多い一年でした。とりわけコロナ禍に打ち勝つためには、市民の皆さんと市の職員の皆さん、ワンチームになって力を合わせて立ち向かってきた。そんな2021年だったと振り返っております。そこで、そんな思いをこの一字に込めました。

あ、マスクは取ったほうが…、実は12月30日の競輪グランプリよろしくお願いいたしますというPRかたがた今これを装着しましたが、せっかくの機会ですので。ごめんなさい、よろしいでしょうか。ちょっと待ってくださいね。どうもありがとうございます。お手元にこの1年を振り返っての資料も配付をさせていただきましたが、三大ニュースということでもありますので、ご質問に即して説明をいたします。

まず一つ目は3ページ、プラモデル化計画の第1弾、プラモニュメントを設置したということでもあります。プラスチックモデルの組み立て前のランナー付きのプラモニュメントをJR静岡駅南口駅前広場など市内3カ所に設置をいたしました。今年度もあと2カ所追加する計画となっております。このプラモニュメント、これは本当にうれしいことだったんですけれども、第55回を数える伝統ある日本サインデザイン協会が主催する、日本サインデザイン賞2021で応募総数343点の中からベスト5に入るんですけれども、大賞に次ぐ金賞を見事受賞しました。所管の課長がその表彰式に今月、行ったわけですが、クライアントが静岡市ということになるわけでもありますけれども、すぐ全国的にも注目される取組になったなというふうに思っています。これを一つの起爆剤

にして来年度以降も静岡の地場産業である、あるいは徳川家康公から受け継がれている、ものづくりの系譜、クラフトマンシップですね。職人精神、そういったものを体現する静岡市プラモデル化計画ということ、業界の皆さんと連携しながら推し進めてまいりたいというふうに思っています。

二つ目は5ページの2年ぶりのレッサーパンダの赤ちゃんの誕生です。テレビ等でも報道していただいておりますが、本当にかわいいですね。この8月にレッサーパンダの聖地と言われる日本平動物園で、2年ぶりとなる赤ちゃんが誕生をしました。候補として5つ、「かずのこ」「スマイル」「ツナ」「アロン」「まくら」と挙げたわけですが、これが大変面白いということでSNS上でも大変話題になりました。そして、投票してもらった結果「かずのこ」君に決まったわけですが、現在、元気にすくすく育っているようです。多くの市民の皆様、冬休み会いに行ってもらえればうれしく思います。

三つ目は、6ページに記載をした陸上養殖三保サーモンが出荷開始されたというニュースです。先月からいよいよ三保サーモンの出荷が始まりました。この事業は、静岡市と東海大学、そして経済界の様々な方々の公民連携事業で、一歩ずつ進んできた取組であります。また、陸上養殖ということで資源を枯渇させない持続可能な新しい漁業のあり方という点でSDGsの目標にも寄り添ったものであります。これを新たな地域の特産品として、由比の桜えび、あるいは用宗のしらすというものをこれまでブランディングしてきましたけれども、それを超える勢いで三保という地名が世界遺産にもなっている三保松原を有しておりますし、有名ですので、三保のサーモン、三保サーモンということでブランディングして、国内外に、これから情報発信をしまいたいというふうに思っております。バリューチェーンを作ったというのも特色であります。生産をするところから小売りをするところまで、例えば、かっぱ寿司でまずは食べられるわけですが、そこのところを生産、卸、小売りとここまで一つのチェーンを結成しまして、一堂に会して先日、清水で記者会見をしたわけですが、これが地域経済の活性化にもなり、また静岡への交流人口の拡大にもなり、そして、静岡市の情報発信にもつながればいいなというふうに思っております。産学官金が一体となったこの事業、また取材をよろしく願いをいたします。

以上が、私が選んだ静岡市の三大ニュースであります。結びにもう一つPRをさせていただきます。1975年にオープンをして長い間、市民の皆さんに親しまれてきた静岡市の文化財資料館が明後日、12月26日に閉館することとなりました。当日、式典をもって長い歴史に幕を下ろしますが、この建物はご承知のとおり2023年NHK放送の大河ドラマ『どうする家康』の大河ドラマ館として活用していく予定であります。この大河ドラマの放送を一つの大きなきっかけにして、全国からたくさんの観光客を呼び込み地域経済の活性化を図ることを目的に官民が連携する組織を準備するという計画の中で、本日、「静岡市大河ドラマ『どうする家康』活用推進協議会」の設立総会を13時から商工会議所において開催いたします。こちらのほうも、閉館式典、設立総会、ぜひ

取材をお願いいたします。

来年以降もまだまだコロナとの戦いが続きます。一日も早くコロナ禍を克服できるようワクチンの3回目の接種、経済活性化のための取り組みなど、引き続き、この2つのLifeを守るというスローガンのもと、市民の皆さんとともに全力を尽くしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。いずれにせよ、今年一年、活発な取材活動、報道活動ありがとうございました。私からは以上です。

◆司会

それではただいまの発表につきまして皆様からのご質問をお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。中日新聞さん、お願いいたします。

◆中日新聞

中日新聞です。高橋雨水ポンプ場の問題の件で、市長としてはこの法令違反、どうして繰り返されてしまったとお考えでしょうか。

◆市長

組織のゆるみがあったということは否めません。法令違反が生じてしまったということは、ただただ申し訳ないと思っています。

◆中日新聞

第三者委員会やりませんか。

◆市長

これからの検討になっていくと思います。

◆中日新聞

これ、このまま克服できないのは、市長としてもよろしくないことじゃないかと思うので第三者委員で徹底的にやるべきだと思うんですけど、提案で。

◆市長

さっそく、克服を使っただけありがとうございます。ご提案、検討課題にさせていただきますと思います。

◆中日新聞

この場では約束できないですか。

◆市長

これから検討させていただきます。やっぱり水道行政は、公営企業管理者がトップでありますので、やはり公営企業管理者の考え方ということを尊重して検討していかなければならないということは、ぜひご理解いただきたいと思います。

◆中日新聞

一般的にも市の事業ってコンサルの方々に協力してもらおうことがあると思うのですが、これ2回繰り返されてコンサルの方ってどうされているのかって、責任をどう考えてらっしゃいますか。市長。

◆市長

上下水道局長答えてください。

◆上下水道局長

すいません。上下水道局長です。そのへんも含めまして今検討している最中でございます。もう少しお時間をいただきたいと思います。すいません。

◆中日新聞

これ、今回の出来事ってイエローカード2枚でも退場となるのに、レッドカード2枚出ている状態なんですけれども、やっぱり、27日、説明するってことですけど、市長として、この場でもう一言ほしいところなんですけど、納得させていただくような、こういう対応します、っていうのを。

◆市長

先ほど申し上げたとおりです。

◆司会

その他いかがでしょうか。

◆中日新聞

ちょっと、じゃあ最後に27日の件でお願いなんですけれども、4月の内部調査報告のときに、再発防止策として関係法令チェックリストや手続きフローの作成とか協議録をまとめるっていう再発防止策、取られていたと思うので、これを全部提供していただきたいのと、27日の場で、よろしくをお願いします。

◆市長

はい、分かりました。大変申し訳ないと思っています。

◆司会

その他いかがでしょうか。

◆中日新聞

申し訳ないのは分かってるんですけど、日本って法治国家なんで、やっぱ法律は守らないといけないと思うんですよね。

◆司会

はい。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは幹事社質問のほうに移りたいと思います。第一テレビさん、よろしく願いいたします。

◆第一テレビ

はい。よろしくお願いします。先日、リニアの有識者会議で中間報告が取りまとめられましたが、その内容について市長はどのように評価されますでしょうか。

また、市長は日頃から中部の5市2町の連携というのを大切にされていますけれども、このリニア問題についても静岡市が同じテーブルについて足並みそろえての議論に参加するということは、今後、あるのでしょうか。お願いします。

◆市長

大きく二つ質問をいただきました。まず一つ目の中間報告については、専門家で様々な議論をしてくれておると承知をしております。国土交通省として一つの見解が示されたものだと受け止めております。大井川の水の問題をめぐるは引き続き、県の専門家会議においてもJR東海との協議が継続をしていくものと想定をしておりますので、流域の皆さんの懸念不安が払しょくできるように議論がさらに加速化していくことを期待しております。いずれにしても現在の議論の枠組みというのは、県を中心に大井川の水の産業や生活を守るということで、そこに責任を持つ自治体の皆さんが当事者であります。私たちは応援団として、SDGsの未来都市でありますので、環境の問題は大事だよということは、下支えをしていきたいなというふうに思っておりますし、また、5市2町の連携、中枢都市圏の中で静岡市が果たすべき役割があるのならば、要請があるのならば、それに応じていきたいというふうに考えております。

◆第一テレビ

ありがとうございます。続いての質問です。3回目のワクチン接種についてお伺いします。2回目からの間隔が医療従事者などは6カ月に、また高齢者は7カ月に短縮されることになりました。静岡市の対応で今変化している部分だったり、苦勞している部分がありましたら教えてください。

◆市長

そうですね。ありますね。今回、接種間隔の短縮の対象にされた医療従事者とか高齢者の方は、ウイルスにさらされるリスクの高さや重症化に陥るリスク等々、早期の接種が望ましいという私の考えは一致しております。一方で接種間隔8カ月でスケジュールをすでに組んでおり、準備もほぼ整っております。医師会の皆さんとの協議や集団接種会場の準備などなど、様々な調整が必要でありますので、目下、職員はその対応に東奔西走してくれているという状況であります。国のワクチンの状況を見定めながら、ということになるわけですが、市としては感染予防、重症化予防につながりますよう、希望する市民の皆さんが一日も早く接種いただけるよう、必要な時期に必要な予約枠を確保するための準備を進めてまいります。10月から新しい田中保健所長も着任をして全力でこれに取り組んでおります。今日もこの質問を想定して同席をしておりますので一言補足をしていただければありがたいと思います。

◆保健所長

保健所長の田中でございます。今、市長のほうからもお話ありましたように、現在、私も全力を挙げましてワクチン接種の準備を進めております。接種機会があれば最大限活用いただきまして早期に3回目のお受けいただけるように現在、鋭意努力をしております。現在、いろいろと、このワクチンの効果につきましても、いろんな情報が見られておりますけれども、やはりワクチンの接種におきまして、間違いなく抗体価のほうは上昇いたします。したがって、一定の予防効果というものが期待できますので、ぜひ、100パーセントではないということは、よく言われるんですけども、やはり一定の効果はございますので、そういうことから、ぜひ打っていただきたいと思っております。やはり100パーセントでないということなんですけど、日常的な予防措置をやっていただく、さらにワクチンの効果を足し算するということ、これに寄りまして一つひとつの対策は確かに不完全ではございますが、この足し算をすることでトータルとしての予防効果、こういうものを上げていくということが、やはり公衆衛生の考え方になります。ぜひそういった点もご理解いただきまして、接種を受けていただきますように、よろしくお願ひしたいと考えております。

◆司会

それでは、ただいまの幹事社質問につきまして皆様からのご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。毎日新聞さん、お願いいたします。

◆毎日新聞

毎日新聞です。リニアに関連して、国の有識者会議の中間報告は出ましたが、大井川流域 10 市町の水に、水量や水質の悪化に対する懸念や南アルプスの自然環境の悪化に対する懸念は依然として無くなっていないと思いますが、市長は水や環境の悪化への懸念、10 市町が持っている懸念についてはどのように受け止めてらっしゃいますでしょうか。

◆市長

共感しています。ですから、我々の役割というのは対立しつつ調和をするということですね。民主主義ですから立場によって意見の違い、対立というのはあって当然だろうというふうに思います。しかし、これ対立したままでは、一向に解決をしないわけですので、政治の役割というのは、まさに、その合意を形成していくということになるかと思っています。その合意を形成するプロセスにおいて、今、動向を静岡市としては見守っているわけですが、何か静岡市がその中で環境と経済の両立するというふうな言い方がふさわしいかどうか分かりませんが、何か役割を果たせるのならば応じていこうと、先ほど申し上げたとおりであります。

◆毎日新聞

あと、そのリニアのトンネルを掘って、掘った後出る土砂なんですけれども、現状、大井川の上流に大規模な盛土をする計画になっています。その量は、熱海の土石流よりも大幅に大きな量になっていて、で、今後、県の条例の規制が強化された場合、来年7月以降、現状のJRの大規模な盛土の計画はおそらく認められないのではないかと思われませんが、市長は、大井川上流への大規模な盛土については、どのように考えていらっしゃいますでしょうか。

◆市長

実務的な補足することがあれば後ほど担当から答えますけれども、私としては、量もさることながら工事の質ということも大事だろうと思っています。これについては私のところへの報告では、しっかりした熱海の土石流とは違う、しっかりした企業の方々が安全管理のもと工事をしてきているというふうに受け止めております。また、ちょっと個別に、また担当課のほうに取材をしていただければと思います。よろしく願いいたします。



◆毎日新聞

もう一点。昨日、井川に通じる県道トンネルの準備工事が着工されましたけれども、その建設費について 140 億円を J R 東海が全額負担するというふうに伺っております。で、この多額の建設費を J R に負担してもらうことによって静岡市として J R に対して言いたいことも言えなくなってしまうのではないかというふうにも心配しますが、市長はその点についてはどうお考えでしょうか。

◆市長

全く心配しないでください。言いたいこと言っております。私たちも最初から合意をしたわけではないんですね。私たち静岡市も南アルプスエコパークを協議会の皆さんと時間をかけて取り組んでまいりましたので、その環境保全ということは、とても意識があったわけです。懸念もあったわけですね。そういうところから J R 東海の金子社長と対話が始まり、そしてだんだん信頼関係を作りながら合意に至ったということでありますので、今後もその信頼関係のもとにコミュニケーションを取っていくつもりであります。静岡市所管の分につきましてはね。

◆司会

その他、幹事社質問関連でのご質問はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではその他のご質問があればお受けをしたいと思っております。いかがでしょうか。日刊工業さん。お願いいたします。

◆日刊工業

今年、市長は市長として 10 年を迎えられ、年男でもあられたわけですが、ご自身、現在、振り返って市政について反省点を含めていったい何点、自分自身、このかじ取りに何点をつけることができるだろうかなど。

◆市長

分かりました。点数はやっぱり市の職員の皆さんとか、市民の皆さんにつけてもらうべきだと思います。ただ私自身、決して 100 点ではないと自覚をしております。私自身、まだ市長として至らないところがありますし、また人間としても欠点や短所というのを自覚しております。おっしゃるとおり、私は今年、コロナと還暦が重なった年でありまして還暦になってみて、またコロナで考える時間が多かったので、読書量も増えました。そうすると自分との対話もすることが多くなったんですね。自分とは何か、人生とは何か、私は今のままでいいのかと、そんな対話をする中で、まだまだだなと反省すること、たくさんあります。もっともっと心技体といいますかね、頭と心と体を整えていかなければいけないなというふうにも思っております。ですので、幹部職員、皆さんに

も苦言をおっしゃってくださいと、記者の皆さんも本当に遠慮なく厳しい質問を浴びせてください、ということもお願いをしております。その一つひとつに真摯に、是々非々で誠実に答えることが自分の心を鍛えることにもつながるんだらうなと思って、自分自身に対して、還暦にして人間は変わることができるのかと実験してみたいと思っています。

◆日刊工業

一応合格点はもらえるかなっていう、そういう部分はありますか。

◆市長

いやいや、まだまだです。なかなか年を取ってくると人間って変われなくなるじゃないですか。難しいことは承知ですけども自分を実験してみたいと思っています。

◆司会

その他いかがでしょうか。はい、NHKさんお願いいたします。

◆NHK

NHKです。二つあります。まずオミクロン株、国内市中感染出ていますけれども、市長は特に忘年会を市職員の方に奨励されている発言を繰り返してこられました、まさに年末ですけども年末年始、市民の過ごし方、忘年会のあり方、新年会もですね。成人式もありますけれども、そういったこと、オミクロン株、市中感染をふまえてどう呼びかけていかれるかお聞かせください。

◆市長

そうですね。それ難しい判断が迫られると思います。大阪市と京都市でオミクロン株の市中感染が発表されましたのでね。私たち時間の問題かなという気持ちでもいます。昨日、一昨日もね、水際作戦に少しでも役立とうと思って、市の職員の皆さんに呼び掛けてJRの静岡の駅頭で啓発活動させていただきました。そのとき、私が申し上げたメッセージは、年末年始気をつけながら楽しんでくださいねと、気をつけながら思い出作ってくださいねということでありまして。三つのワクチンを打ってほしいと、それはワクチン接種ということと知識としてのワクチンと、あと行動制御としてのワクチンですね。そんな自覚をお願いしたいというふうに思っていますが、保健所長から。

◆NHK

市長だけで結構です。まず忘年会、新年会、これまで奨励される発言されてこられたことについては、どうされますか。

◆市長

そうです。飲食店の方々は、この大組織である市の職員が、とてもお客さんとして期待をされておりますのでね。感染対策をきちっとやっているお店に、ルールに基づいて忘年会に行くことは、私は背中を押しております。

◆NHK

それは引き続きそうしたいという…

◆市長

はい。

◆NHK

新年会ですとかについても同様で…

◆市長

ただし、先ほども申し上げましたとおり、オミクロン株の動向は厳しく見定めなければいけない。その感染状況によっては、私のメッセージも変わってきますので、そのときは、不変のものではないという、そんな理解をしてほしいと思います。少し客観的なことをお伝えさせていただきますので、お聞きください。

◆保健所長

保健所長の田中でございます。まずは、やはりオミクロンの市中感染ということが報道もされておりますけれども、冷静に対応していただきたいと考えております。現在、市内で発生いたしました株につきましては、全例ゲノム解析をしております。現在のところ全てデルタ株ということで、引き続きモニタリングのほうは進めていきたいと考えております。また、市民の方へのご注意といいますか、まず感染が増加している地域、特に東京都も少し増えてきているということなんですけれども、あと現在、市中感染が発見されたという大阪方面、関西方面なんですけど、やはりこういう地域に不要不急の案件での訪問、こういったものは控えられたほうが賢明ではないかなと考えております。また、どうしてもやむを得ない理由で訪問する際には、その要件以外の理由で不特定多数の方が集まる場所になるべく近づかない、また静岡市に帰られたたおりに、感染防御であるとか健康観察、そういったものを、しっかりお努めいただきたいと思っております。また一般の方々につきましては、現在行っております予防措置について引き続きお願いしたいと思っておりますが、最近少し、感染事例なんかも出ております。これやはり気温が下がってまいりましたので、換気が悪くなっているというのが一つ原因として

考えられます。また、手洗いの水も冷たくなっていますので、そういったものがしっかり洗えてないのかなという可能性もございます。あと、今、市長のほうからもお話がありましたけれども、やはりアルコール自体が感染を引き起こしているわけでもございません。やはり飲んで注意力が散漫になって予防対策も少し行き届かないと、したがって、そういった注意力が散漫にならない程度に適切な飲酒量を守っていただくということ、そういった中で楽しんでいただきたいという趣旨だと思います。そのとおりだと思います。ぜひそういった点につきましても注意をいただきながら楽しい時を過ごしていただきたいと、そういう趣旨で現在、考えております。

◆NHK

もう一つ伺います。7年前に亡くなった静岡病院の職員の方、自殺された命日になります。市長、2年前にこの年末に私が伺ったときには、異常とも言える職場環境、強度な精神的負荷をかけるものだったという労災認定の指摘に対して誰がそんなことを言ったのかと。で、私に対しては、会見の後に「年末の会見でああいうこと聞くのはどうということなんだ」と逆切れされるという対応を取られた。そして、去年末にこの質問聞いたときには、結局、その指摘を踏まえた再発防止策何か考えているのでしょうかという質問に対して「病院長とお話します」「理事長とお話します」と言うだけで具体的なことを示されなかった。そして、今年そうした中で市職員逮捕者4人を出して職場環境に問題があるという認識を示された。結局7年前、職員の方が自殺されてその職場環境の問題を指摘されて、市長、何してこられているのでしょうか。

◆市長

ただただ心を痛めております。今年一年いろんな死に私も遭遇をしました。やはり人の死というのは悲しいものであります。その点で遺族の気持ちを推し量ると、本当に残念でありますし、ご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

◆NHK

質問と答えがかみ合っていないのですが、職場環境の改善に何を努めてこられたのでしょうか。

◆市長

指示はしてありますので、鋭意現場で改善に努力をしてきているというふうに信じております。

◆NHK

指示をして何がどう変わったのか。そして、今年職員4人逮捕出して、どうやら職場環

境に問題があるという認識示されたのは、結局何をしてくられているのか、これから何をされるのかお答えください。

◆市長

どんな組織にもいろんな事案があります。その中で先ほども申し上げましたが100点ということはないだろうと思います。その点、今、係争中のこともありますので、ここではつまびらかには申し上げませんが、改善に努めているとご理解いただければ大変ありがたいというふうに思います。

◆NHK

職場環境の改善の話ですので、係争中の責任の問題を問うているのでありませんので、職場環境の改善について何をなさってこられたのかということ伺っています。市長、お願いします。総務局長じゃなくて市長お願いします。

◆市長

本人の自覚を求めるということに一点集中して局長を通じて伝えてあります。独立行政法人になっておりますのでね。私の指示というのが、どれだけ現場に浸透しているかはまた別の次元であります。でも二度とこういうことを起こしてはいけない、再発防止しなきゃいけない。そういうメッセージは伝わっているというふうに私は信じております。

◆NHK

職員の方が亡くなったときは市の組織でしたし、今年4人の逮捕者を出したのも市長の組織の中でのことでしたが。

◆市長

申し訳ありません。

◆NHK

結局、職場環境の改善に何に努めているのか、これだけ長いやり取りをしても一つも出てこないのはどういうことなのでしょう。

◆市長

監督不行き届きで私が責任を持つから、こういうふうに申し上げているわけですが、ご承知のとおり総務局はいろいろな改善の措置をとっております。ぜひ、そこをご理解いただきたいというふうに思います。

◆NHK

市長、あと、ご遺族の方に弔問はなされたのでしょうか。

◆市長

しておりません。

◆NHK

どうしてでしょう。

◆市長

当事者、病院の関係者にその気持ちを持ってもらって、そして私のお悔やみの気持ちも伝えてもらうようお願いをしています。

◆NHK

市の組織だけれども、少なくとも当時、市の組織だったけれども自分の問題ではないと、病院の問題であると…

◆市長

誤解をしないでください。そんなこと私、一言も申し上げてないじゃないですか。

◆NHK

どうして病院のせいにされるんですか、今、対応を。

◆市長

そんなふうに病院のせいにしたのならば、私、お詫びの言葉申し上げません。

◆NHK

少なくとも弔問はできるはずですが、どうしてそれをなさらないのか、それだけお答えください。それで終わりますので…

◆市長

ケース・バイ・ケースです。例えば、吉田町の火災のときに、私は本当に丁寧に弔問に伺いました。ケース・バイ・ケースです。ご理解ください。

◆NHK

消防職員が亡くなったのには、弔問をするけれども…

◆市長

私も人の心がありますので。

◆NHK

消防職員が亡くなると殉職されると弔問なさるけれども、職場環境のせいで市職員の方が自殺なさっても弔問なされないのはどうしてなのでしょう。

◆市長

分かりました。検討させていただきます。

◆NHK

なぜこれまで弔問されなかったんですか。

◆市長

独立行政法人というね、組織のトップとの私なりの対話があります。

◆NHK

また伺います。

◆司会

その他いかがでしょうか。中日新聞さんお願いいたします。

◆中日新聞

中日新聞です。ちょっと別の話なんですけれども、静岡赤十字病院の前に「奇跡のくすのき」という、あの静岡空襲乗り越えたくすのきがありまして、ご存じだと思うんですけれども、だいが70年以上たって傷んでいると、で、その平和資料センターの方々が市に要望していると聞きまして、市としてどんな協力をしていきたいか。たぶん一番は植えてほしいってということだと思うんですけれど、いろいろ現実的な問題もある中で、市としてどういう協力をしていきたいと、市長、考えてらっしゃいますでしょうか。

◆市長

協力していきたいと思っています。私自身、政治を志した原点が平和の問題でありますので、私たちは、このことについて風化させていってはいけないなというふうに思っております。ですので、歴史文化施設もオープンを控えておりますし、要望の趣旨も十分理解をしておりますのでね、何らかの形で平和都市宣言を市議会でも議決をしたという

いきさつもありますのでね。対応してまいりたいとそんなふうに思っています。

◆中日新聞

歴文のあそこに移植するのも検討しているということなんですか。

◆市長

いろんなアイデアといいますか、提言いただいておりますので、幅広に検討していきたいと思っています。

◆司会

その他いかがでしょうか。静岡新聞さん、お願いいたします。

◆静岡新聞

静岡新聞です。愛知県の東海市役所に侵入して現金を盗んで逮捕された職員の、懲戒免職になりました元職員の件なんですけれども、弊社の記事で静岡県内でも市役所とか、町役場 10 カ所に侵入して窃盗を繰り返していたという記事を報道させていただいているのですが、市当局に伺っても捜査中ということで答えられないということなんですけれども、市長としてはそういったことがお耳に入っているかどうか、ということをお聞かせください。

◆市長

入っております。全庁調査を実施しております。ただ、なかなか県警の捜査等の要請があるみたいでありますので、捜査に支障に生じる恐れがあるということは控えなければいけないというふうに承知しています。

◆静岡新聞

そうすると、愛知県のその市役所だけではなくて、いろいろな自治体に迷惑をかけてもう懲戒処分になっていきますけれども、他の自治体にも迷惑をかけているということなんですけれども、改めてその件に関しまして、市長としてはどのようにお考えになりますか。

◆市長

本当にご迷惑をおかけしているなと思っております。その中で市長がどんな思いを伝えればいいのかという観点から、東海市長には私から直接おわびの電話を入れさせていただきました。先方もそれは意に感じてくださったようで、その後「お互いこういうご時勢だから気をつけよう」というようなコミュニケーションにつながっております。本当に



申し訳ないと思っています。

◆静岡新聞

あともう一点、その関係で再発防止策、不祥事を4人の逮捕者を出しているということなんですけれども、そのへんの再発防止の進捗状況というのはいかがでしょうか。

◆市長

鋭意進めております。具体的にどうだということについては、今、申し上げることは時間がありませんけれども、鋭意進めているということを強調させていただきたいと思っております。

◆司会

はい、それでは45分を過ぎておりますので、もし、もう一問、最後ということがあれば…よろしいでしょうか。それでは本日の市長定例記者会見を終了させていただきます。次回の予定は1月7日の金曜日となります。本日はありがとうございました。

◆市長

どうもありがとうございました。よいお年をお迎えください。